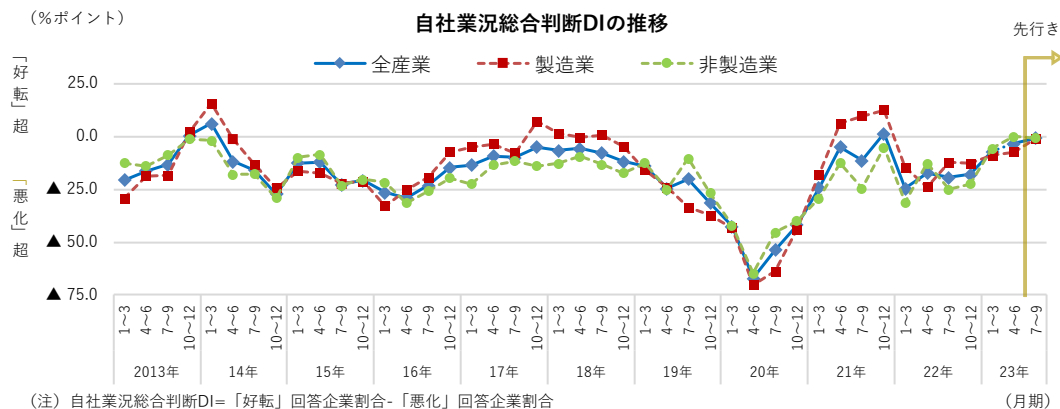


## 県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している

### <今月のポイント>

- 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、個人消費を中心に経済活動の正常化が進んでいる。総じてみれば、「物価高などの影響を受けつつも、持ち直している」に判断を引き上げ。
- 個人消費は、持ち直しの動きが続いていることから「緩やかに回復している」に判断を引き上げ。その他の項目の基調判断は据え置き。
- 当社が実施した「茨城県内主要企業の経営動向調査（23年4-6月期）」によると、県内企業の景況感を表す自社業況総合判断DI（注）は、全産業で▲3.3%と「悪化」超ながら前期（▲7.1%）から3.8pt上昇し、3期連続の改善となった。
- 先行きは、物価高が企業や家計にもたらす影響、資源・資材価格や為替水準、海外経済減速の行方について引き続き注視する必要がある。



### <基調判断・天気図>

	基調判断		天気図		
	前月からの 変化	2023年7月調査	5月調査	6月調査	7月調査
総合判断	➡	物価高などの影響を受けつつも、 持ち直している			
生産活動	➡	持ち直しの動きに 足踏みがみられる			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱含みにある			
公共投資	➡	持ち直している			
個人消費	➡	緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直しの動きに 足踏みがみられる			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します

## 生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる

5月の鉱工業生産指数（2015年＝100、季節調整値（※1））は99.8、前月比1.1%減であった。業種別の内訳について寄与度の大きい順でみると、生産用機械（同11.0%増）、食料品・たばこ（同6.0%増）、鉄鋼（同15.5%増）、化学（同1.2%）等が上昇したものの、輸送機械工業（同32.1%減）の低下などが影響し、全体の指数は小幅ながら低下した。

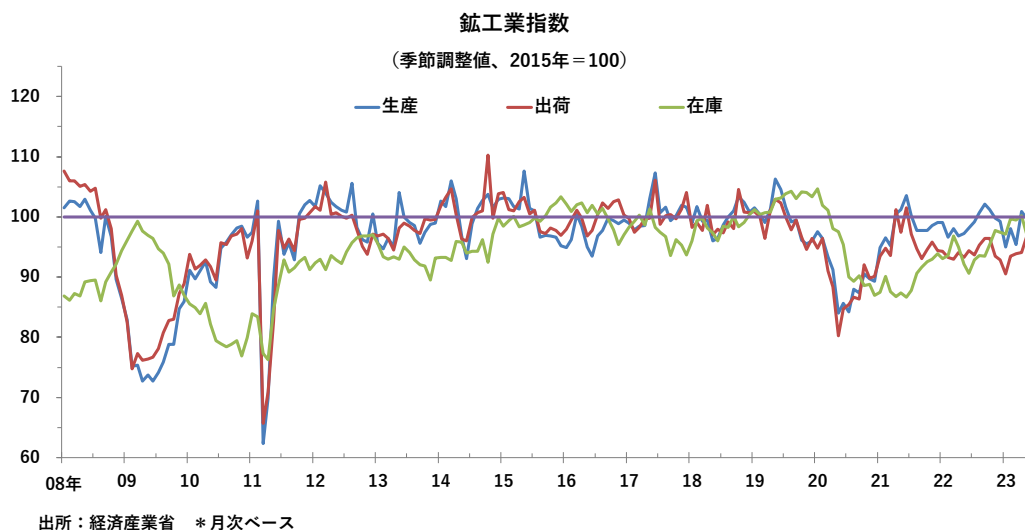
当社の企業調査（6月）では、4-6月期の製造業の生産判断DI（※2）は▲12.6%と前期（▲11.2%）比で横ばいを維持した。企業ヒアリング（6月）では「部材の調達難が解消しつつあり受注も好調」（電気機械）、「受注が引き続き安定」（ペット用品）などの声が聞かれた。一方「半導体製造装置業界の生産調整により売上が大きく減少」（電子部品・デバイス）など、供給制約の影響に関する声も引続き多く聞かれた。

このように県内の生産活動は、海外経済減速や部品調達難に伴う生産調整などを背景に、足もとでは横ばい圏内で足踏みしているとみられることから、基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と前月の判断を据え置いた。

先行きの生産は、輸送機械を中心に供給制約の影響が和らぐもとで、再び持ち直すことが期待される。企業調査をみると、7-9月期の生産判断DIは+3.2%、前期比+15.8ptと大幅な改善見通しとなっている。7-9月期の仕入価格DIの見通しも同▲7.9%低下となっており景況感の改善が期待されるが、供給制約の回復の遅れや海外経済の動向が及ぼす影響については留意する必要がある。

外需に係る貿易面についてみると、5月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,601億円、前年同月比18.8%増と20か月連続で前年水準を上回った。鹿島は鉄鋼等が減少したものの、有機化合物（基礎化学品）や石油製品の増加により同2.8%増、日立（日立港・常陸那珂港）は建設用・鉱山用機械が概ね横這い（同0.9%）ながら自動車の増加が続き同36.6%増であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値      ※2：前年比で生産が「増加した」と「減少した」との回答割合の差



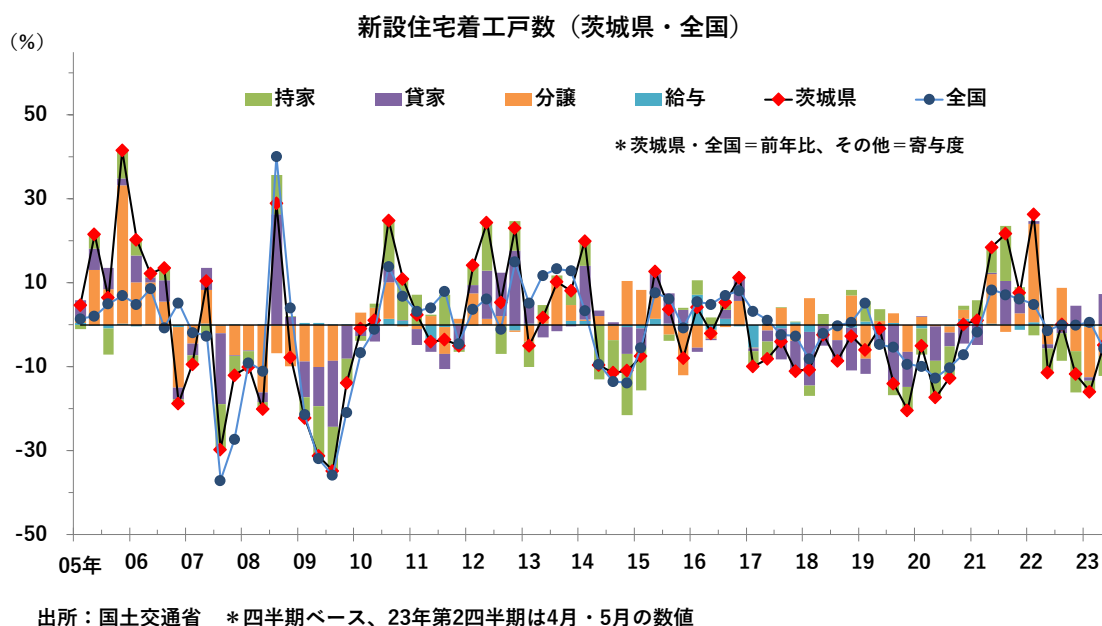
## 設備投資は持ち直している、住宅投資は弱含み、公共投資は持ち直している

5月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、64千㎡、前年同月比56.8%減と7か月連続で前年水準を下回った（うち倉庫は同65.3%減）。一方、日銀短観（茨城県、6月）によると、県内企業の23年度の設備投資額（金額ベース）※は、全産業で、前年度比0.1%増の見通し（製造業：同9.3%増、非製造業：同17.6%減）。当社の企業調査（6月）では、23年1月-6月期の設備投資実施企業割合（件数ベース）は、全産業で53.0%と、当初計画比（58.1%）で5.1%pt減ながら、前期実績比（55.3%）比では概ね横ばいであった。県内では補助金を活用した環境対応投資など前向きな投資の動きが広がっていることも踏まえ、設備投資は「持ち直している」と判断を据え置いた。

5月の新設住宅着工戸数は1,416戸、前年同月比7.8%増と3か月振りに前年水準を上回った。内訳をみると、持家は643戸、同1.5%減と3か月連続で減少、貸家は495戸、同51.8%増と2か月連続で増加、分譲住宅は276戸（うちマンション0戸）、同14.6%減と2か月連続で減少した。住宅投資は、着工戸数全体では3か月振りに増加したものの、主力の持家が依然として低迷を脱していないことを踏まえ、「弱含みにある」との判断を据え置いた。

6月の公共工事請負金額は494億円、前年同月比15.8%増と2か月連続で前年水準を上回った。内訳をみると、市町村が同12.9%減であったものの、県が同99.3%増、さらに高速道路の工事を含む独法的大幅な増加（同2.6倍）が全体の増加に寄与した。公共投資は請負金額が全体として底堅く推移しており、先行きも国や県などの予算執行により堅調に推移することが見込まれることから「持ち直している」との判断を据え置いた。

※ソフトウェアを含む、除く土地投資額



## 個人消費は緩やかに回復している

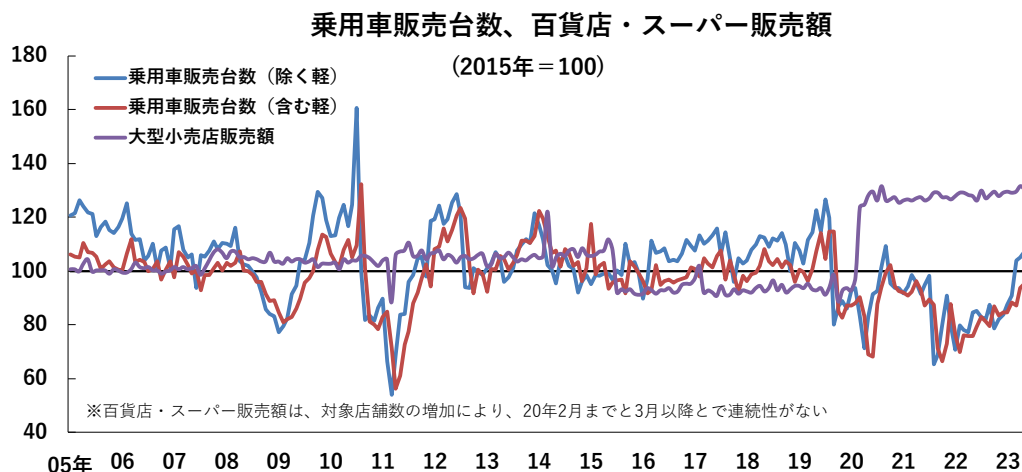
6月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は8,355台、前年同月比20.4%増と、6か月連続で前年水準を上回った。内訳は、普通乗用車が同39.6%増、小型乗用車が同4.8%増、軽乗用車は同10.2%増といずれも増加した。乗用車販売台数は、供給制約の緩和に伴い持ち直しの動きが続いており、先行きについても「メーカーからの新車投入効果に期待」（自動車販売店・7月）との声が聞かれた。

5月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比2.0%増と3か月連続で、既存店ベースは同0.6%増と2か月連続で前年水準を上回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同14.1%減と8か月連続で、ホームセンターが同2.7%減と2か月振りに前年水準を下回った一方、ドラッグストアは同7.9%増と25か月連続で、コンビニエンスストアが同3.4%増と18か月連続で前年水準を上回った。

5月の家計消費支出（水戸市）は、前年同月比23.6%減と4か月連続で前年水準を下回った。一方、消費マインドに関して6月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は52.7、前月比0.2pt減と2か月連続で低下したものの、判断の目安となる50を上回って推移した。

当社の企業調査（6月）では、4-6月期の非製造業の自社業況総合判断DIは0.0%と、前期から5.7pt上昇した。同DIが「悪化」超を脱するのは、東日本大震災の反動などがみられた12年4～6月期（「好転」超1.2%）以来、11年振りとなる。このように個人消費は、総じてみれば経済活動の正常化を背景に、コロナ禍からの持ち直しの動きが続いていることから、「緩やかに回復している」と、判断を引き上げた。

もっとも、企業ヒアリング（6月）では、「中高年層の客足の戻りが鈍い」（小売業）、「円安だがインバウンド需要も限定的」（飲食・宿泊業）など、コロナ禍前まで需要が回復しなかったとの声も複数聞かれた。先行きは、（6月以降の電気料金値上げ分を含めた）物価上昇に伴う可処分所得の減少が、消費支出や消費マインドに与える影響について、引き続き注意が必要である。



出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省 \*X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

## 雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる

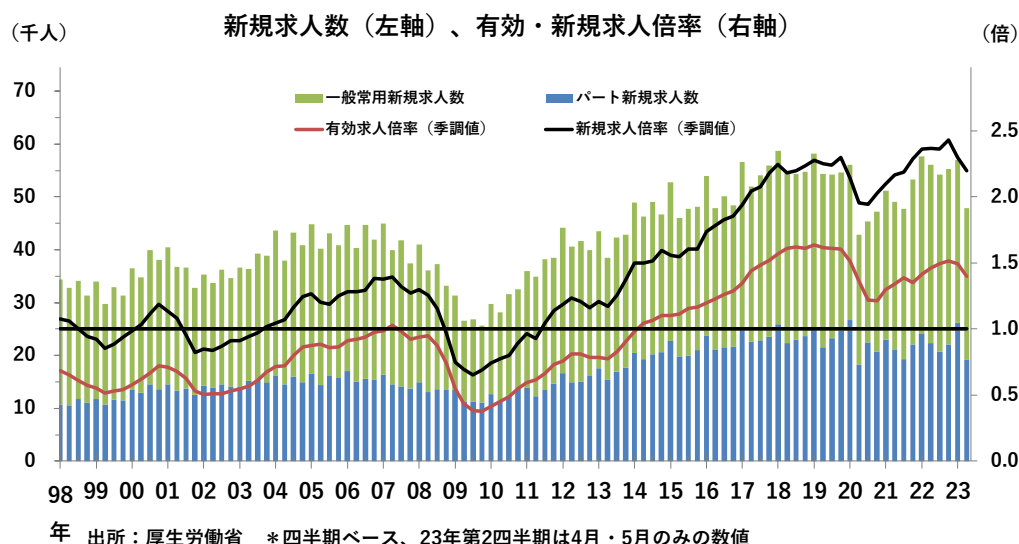
5月の雇用関連指標を季節調整値で見ると、有効求人倍率は1.39倍、前月比0.02pt減と3か月連続で低下した。新規求人倍率は2.38倍、前月比0.36pt増と5か月振りに上昇した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.57倍、前月比0.02pt減であった。有効求人数について雇用形態別にみると、正社員は前年同月比1.6%減、パート・派遣・契約社員等は同12.3%減であった。

新規求人数は16,878人、前年同月比0.8%増と3か月振りに前年水準を上回った。一方、新規求職者数は8,776人、同1.5%減と4か月振りに前年水準を下回った。

新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業(同96.6%増)、卸売業・小売業（同30.9%増）、情報通信業（同29.6%増）、運輸業・郵便業（同7.3%増）等が増加し、学術研究・専門・技術サービス業（同18.0%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同8.3%減）、製造業（同8.0%減）等が減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数は8,086人、前年同月比8.3%増と2か月連続で前年水準を上回った。事業主都合離職者数は533人、前年同月比31.3%増と3か月連続で前年水準を上回った。雇用情勢は、有効求人倍率が3か月連続で低下したこと、雇用保険受給者数の改善傾向に変化の兆しが窺えることから、「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と前月の判断を据え置いた。先行きは若年人口の減少等の構造要因を背景に持ち直すとみられ、経営側にとっては人手不足感のさらなる強まりが予想される。

なお、当社の企業調査（6月・回答企業195社）によると、2023年の夏季賞与の支給状況は、全産業で「横ばい」が36.4%で最も多く、次いで「増加」が32.8%、「未定」が14.4%、「支給しない」が10.3%、「減少」が6.2%であった。夏季賞与を支給する企業の割合は75.4%と、新型コロナ前の19年（79.9%）を下回ったものの、8年連続で7割超を維持した。県内の所得環境は、賞与・賃金ともに改善傾向がみられるものの、実質的な改善の度合いについては引き続き注視していく必要がある。



## 茨城県経済動向 基調判断の推移

		基調判断
2019	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている
	12	県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる
2020	1	県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる
	2	県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる
	3	県内経済は、弱含んでいる <small>—新型コロナウイルスの感染拡大により、先行き懸念・不透明感が続く見通し</small>
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により弱い動きとなっている <small>—先行きは更に悪化懸念</small>
	5	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—製造業・非製造業とも7割の企業が悪影響を実感</small>
	6	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—自営業総合判断DIがリーマンショック後に次ぐ低い値に</small>
	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—先行きは感染の第2波の悪影響が懸念</small>
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—個人消費は底入れしつつあるものの、生産の落ち込みが続く</small>
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—方向感としては持ち直すも、生産などの低水準が続く</small>
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2021	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	5	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	6	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2022	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響がみられるものの、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響がみられるものの、持ち直している

## 各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2022	6	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直している	横ばい圏内で推移している
	7	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	足もとでは弱含みにある	横ばい圏内で推移している
	8	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	弱含みにある	横ばい圏内で推移している
	9	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
	10	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しつつある
	11	持ち直している	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しつつある
	12	持ち直している	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しつつある
	2023	1	持ち直している	弱含みにある
2		持ち直している	弱含みにある	持ち直しつつある
3		持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
4		持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
5		持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
6		持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
7		持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2022	6	弱含みにある	持ち直しつつある	持ち直しつつある
	7	持ち直しつつある	持ち直しつつある	持ち直しつつある
	8	持ち直しつつある	持ち直しつつある	持ち直している
	9	持ち直しつつある	持ち直しつつある	持ち直している
	10	持ち直しつつある	持ち直しつつある	持ち直している
	11	持ち直しつつある	持ち直しつつある	持ち直している
	12	持ち直しつつある	持ち直しつつある	持ち直している
	2023	1	持ち直しつつある	持ち直している
2		持ち直しつつある	持ち直している	持ち直している
3		持ち直している	持ち直している	持ち直している
4		持ち直している	持ち直している	持ち直している
5		持ち直している	持ち直している	持ち直している
6		持ち直している	持ち直している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
7		持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所  
地域研究部  
地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2023年7月28日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。